

# NIIGATA SEIRYO NEWS

2019/9 No. 22



# 新潟青陵大学看護学科第19回戴帽式



## 看護学科 第19回戴帽式を挙行了しました

### 実習に向けて決意を固める

2019年5月11日（土）、来賓の方々、多くのご家族の方々をお迎えし、看護学科2年生の第19回戴帽式を挙行了しました。戴帽式は、本格的な実習に向けて看護への決意を新たにすることを目的としています。今年は87名の戴帽生がナースキャップを戴き、「誓いの言葉」を宣誓しました。

ナースキャップは、現在では臨床現場で着用されることはほとんどなくなりましたが、なお看護師のシンボルの一つと

されています。憧れの対象と見る看護学生も少なくありません。そのナースキャップを一人ひとりが身につける戴帽式は、学生たちにとって看護の道に進む決意と自覚を高める特別な意味を持ちます。

### 学生主体で企画・準備

本学の戴帽式は学生主体の実行委員会により企画・実施されています。今回の式に向けては、昨年10月に実行委員会が立ち上がり、当時の1年生15名が委員となって半年以上にわたり準備が進められました。

委員同士で意見を出し合っ組み立てられたプログラムには、「自分たちらしく、心に残る素敵な式にしたい」「支えてくださる方々への感謝の気持ちを伝えたい」といった思いが込められています。春になると、実行委員がリーダーシップを発揮し、会場での動き方や誓いの言葉の斉唱、合唱の練習を重ねてきました。

### 当日にける思い

そして迎えた当日、式は学生たちが整列してナースキャップを戴く「戴帽の儀」に始まり、看護への道に進む決意を新たにする誓いの言葉、看護の心を受け継ぐキャンドルサービスが厳かな空気の中で



行われました。締めくくりは感謝の気持ちを込めた『未来へ』の合唱。ご来場いただいた保護者の皆様より、感動した・素晴らしいとお言葉をいただき、成功のうちに式を終えることができました。緊張した面持ちで臨んだ学生たちも、式を終えてからは弾けるような笑顔を見せています。

学生たちからは「全員で協力して準備し、みんなで誓いの言葉を言ったことがとても感動的だった」「学年全体が一体になったようだ」との感想が寄せられています。学生同士で連帯感をもって厳しい実習を乗り越え、立派な看護職者へと育っていくことを願っています。

## 学長式辞 — 新潟青陵大学 学長 リボウィツ よし子

今日のナイチンゲールの生誕を記念とする「戴帽式」は、看護師という専門職を選んだ人の「証」であり、新たな「決意表明」として重要な意味があると思います。おそらく一生記憶に残る最初の患者さんを通し、患者さんは何を心配し、何を望まれておられるのか、心に寄り添うことから始まります。皆さんが初めての実習の場で感じるであろう無力さは、やがて看護師としての成長のエネルギーとなります。

本日の記念として、ナイチンゲールが看護学生に説いた言葉を贈ります。「あなた方は、進歩し続けられない限りは退歩していることになるのです。目的を高く掲げなさい。2年目も3年目も、あなたの生涯を通して、この最初1年に築いた基礎の上立って、自分を訓練し続けねばなりません」。皆さんが専門職としてのサイエンスとアートを生涯磨き続け、日本のみでなく世界の健康の担い手として活躍くださることを祈念し、式辞といたします。



## 戴帽式を終えて — 看護学科2年 長谷川 かのり



新潟青陵大学の戴帽式は先輩方から代々受け継がれ、学生中心で行われます。企画段階から初めてのことはばかりで試行錯誤しながらの作業でしたが、先生方のご協力のもと、本番を迎えることができました。支えて下さる方々、対象者の皆様への感謝の気持ちを忘れずに夢に向かっていくという、私たちの思いが届いていたら嬉しいです。

私たちは今回の式で看護の道を歩むものとしての決意を誓いました。看護師・保健師・助産師・養護教諭と目指すものは異なりますが、悩んだときは今日のこの日を思い出し、この学年の仲間と支え合いながら、一步一步成長していきたいと思います。式で誓ったことを胸に、これからも日々の学習、実習に励みます。

## 誓いの言葉

私たち87名は今、この瞬間を迎え  
新たな決意と強い意志を胸に  
看護の道を歩んでいきます。

私たちは幅広い確かな技術と豊かな人間性を身につけると共に  
笑顔と思いやりを忘れずに  
一人一人に寄り添う看護を目指します。

つまずいても諦めず  
看護の道を歩むものとして  
誇りと責任、向上心を持った医療者になります。

実習を受け入れてくださる対象者の方々  
私たちを支えてくださる先生方、指導者の皆様  
そして、家族をはじめとする多くの方々への  
感謝の気持ちを忘れません。

今日のこの強い決意を胸に刻み  
初心を忘れず、仲間と共に切磋琢磨しながら  
自分の夢に向かって歩んでいくことを誓います。

2019年5月11日  
戴帽生一同

## 県内外の大学が地域活動の成果を発表

### サテライトキャンパスサミット 2019 in Niigata

6月28日(金)、新潟日報メディアシップにて「サテライトキャンパスサミット 2019 in Niigata」が開催されました。主催は本学も参画している4大学メディアキャンパス。大学と地域社会との接点としてのサテライトキャンパスの活用事例を、全国各地の様々な大学が発表し合うイベントで、今回で5回目を数えます。当日は県内外の大学関係者と地域連携活動に携わった学生のほか、県内の企業・行政・団体から総勢79名が集まりました。

プログラムは岐阜大学・北九州市立大学による県外の実例報告に始まり、新潟日報社と県内の学生が協力してフリーペーパーを制作した事例について、本学福祉心理学部の3年生3名が発表しました。最後は地域連携活動に関わった学生たちが感じたこと・学



↑各大学の学生発表がグラフィックレコーディングでまとめられました。

んだことを話し合うパネルディスカッション。一連のプログラムを通して、学生たちのリアルな体験談や活動に対する思いを聴けたことが非常に参考になったとの声が会場から寄せられました。



## 充実した学生生活のための仲間づくり

### 2019年度 学友会主催交流会



6月26日(水)、学友会主催交流会が開催されました。本学の大学生・短大生・教職員が交流し、学生生活をより有意義に過ごすためのネットワーク作りを目的に毎年実施されています。

今回は60人を超える学生・教職員が参加。レクリエーションやビンゴゲームで親交を深めました。ゲームクリアを目指して学部・学科に関係なく協力し合う姿や、たくさんの笑顔がみられ、盛況のうちに会を終えました。会の企画・準備は学友会の2年生たちが担当。メンバー同士で話し合いながら準備を重ね、無事成功を収めたことに満足そうな表情を浮かべていました。

## 「行動する愛」の実践を学ぶ

### 国際交流講演会



7月2日(火)、フィリピン・マニラより沈孝輔(シンヒョボ)アンドレアブラザーを招き、国際交流講演会を開催しました。アンドレアブラザーは、マニラにおいて貧困層の支援と児童養護施設「愛の家」の運営に携わっています。この「愛の家」は、本学の学生の海外研修旅行における訪問先の一つです。

講演で語られたのは、自身の白血病闘病をきっかけに活動を始めたこと、貧困に苦しむ人たち、特に子供たちを支援することの意義、活動にかける思いなど。写真や動画で分かりやすく、かつ熱意あふれる講演に感動の声が寄せられました。

## 月見草を見ながら地域の方々と交流

### 月見草の会

7月10日(水) 夕刻より、地域の皆様との交流行事「月見草の会」を開催しました。例年、月見草の咲くこの季節に、近隣にお住まいの皆様と本学学生・教職員が親睦を深める目的で開催しています。会場は本学6号館の学生ホールです。中庭に目を向けると、月見草が並んで淡い黄色の花を咲かせているのが見えます。この日に向けて園芸部と学生ボランティアが手入れを施してくれました。

当日は天候も良く、茶道部と生協学生委員会の学生たちが振る舞う抹茶と和菓子を味わいながら、薄暮に咲く月見草の花を楽しめました。歓談の合間には学生たちが吹奏楽、ウクレレ、コーラス、ダンス、箏曲などの趣向を凝らした発表を次々と行い、会場を盛り上げます。地域にゆかりのある童謡「砂山」をはじめ、来場者も一緒に合唱するひと時もあり、賑やかで心温まる会となりました。



↑ダンス部によるパフォーマンス。月見草と戯れる少女を幻想的に表現しました。

今回は老人憩いの家なぎさ荘の利用者の方々や新潟青陵高校の生徒の参加もあり、「様々な年代・地域の方々との開かれた交流の場」として定着しつつあると実感しています。



## 「いのちの始まりと終わり」について考える講座を開講

### ふわりとつつむ 新潟青陵インクルージョン講座

本学社会連携センター主催による公開講座「ふわりとつつむ新潟青陵インクルージョン講座」を7月13日(土)と8月3日(土)に開催しました。前期2回のテーマは、だれもが避けて通ることのできない「いのちの始まりと終わり」です。人生における重要なテーマでありながら、日常生活において意識することの少ない「生と死」に目を向け、よりよく生きるための手がかりとしていただくことを講座の目的としています。

初回の7月13日(土)は助産師経験を有する看護学部 池田かよ子教授による「い

のちの授業」。妊娠から胎児の成長、出産に至るまでの過程を詳しく振り返り、生命の持つ力の大きさを知る講座です。途中のグループワークでは、幅広い年齢層の参加者が混じり合い、自分が・子どもが・孫が生まれたときに思いを馳せ、その時の気持ちや今感じていることを語り合いました。「改めて命の大切さを実感した」「子どもと一緒に受講したい」などの感想が参加者から寄せられ、命の尊さや親子のつながりを思い返すきっかけとしていただけたようです。

第2回の8月3日(土)は、家族を亡く



↑第1回は池田かよ子教授の「いのちの授業」。妊娠・出産の過程から「いのち」を見つめなおしました。



↑第2回は森扶由彦教授による「生と死」の講座。生きること・死ぬことの意味を考えました。

した遺族や看取りに立ち会った医療・福祉職員へのケアを専門とする、福祉心理学部 森扶由彦教授による講座です。「QOD(Quality of Death)」の概念を紹介しつつ、「よりよい死」のあり方を考えました。講義に加えて、3名の方々に家族の介護と看取りの実体験をお話いただきました。参加者からは、家族の死の受け止め方や自分自身の死の迎え方に思いを巡らせる機会になったと好評でした。

後期には多様性の理解や障害とアートをテーマとする講座を開講予定です(詳細は本紙裏表紙を参照ください)。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 2018年度卒業生数

学部・学科	卒業生数
大学院 看護学研究科	6
大学院 臨床心理学研究科	9
大学 看護学部	93
大学 福祉心理学部	137
短大 人間総合学科	222
短大 幼児教育学科	131

標準修業年限卒業率※			
看護	93.5%	人間総合	96.5%
福祉心理	91.2%	幼児教育	97.8%

※入学後に留年・休学・退学せず、ストレート（大学4年間、短大2年間）で卒業した学生の割合。

↓ 3月19日（火）、新潟市民芸術文化会館劇場において2018年度卒業式を挙行了しました。



## 2018年度卒業生就職実績

学部	卒業生数	就職者数	進学者数	実就職率
看護	92	92	0	98.9%
福祉心理	137	117	15	95.9%

学科	卒業生数	就職者数	進学者数	実就職率
人間総合	222	201	9	94.4%
幼児教育	131	126	4	99.2%

学部	正規採用者数 / 割合	県内就職者数 / 割合
看護	84 / 91.3%	73 / 79.3%
福祉心理	113 / 96.6%	96 / 82.1%

学科	正規採用者数 / 割合	県内就職者数 / 割合
人間総合	194 / 96.5%	183 / 91.0%
幼児教育	94 / 74.6%	103 / 81.7%

実就職率は「全卒業生から進学者を除外した学生」のなかで就職した学生の割合を示す「本当の実就職率」であり、本学が重視している指標です。正規採用者の割合および県内就職者の割合は、就職者数を分母として算出しています。

## 2019年度入学生数

学部・学科	入学生数
大学院 看護学研究科	2
大学院 臨床心理学研究科	10
大学 看護学部	94
大学 福祉心理学部	148
短大 人間総合学科	227
短大 幼児教育学科	133

入学定員充足率※			
看護	104.4%	人間総合	113.5%
福祉心理	105.7%	幼児教育	102.3%

※入学定員に対する入学生数の割合。2019年度は全学部・学科で100%を上回りました。



↑ 4月2日（火）、本学体育館において2019年度入学式を挙行了しました。

## 2019年度新任教員

リボウィッツ よし子 **新潟青陵大学 学長**



私は聖路加看護大学の第1期生で、1970年に米国に留学し、1998年まで現地で医療と教育に携わりました。新しいことに挑戦し、やり遂げた経験は自信につながります。学生たちにもチャレンジすることの大切さを伝えていきたいと思っています。本学は地域に開かれた大学で

す。子育てを終えた女性や退職後の方が気軽に学んだり、学生と一緒にボランティア活動に励んだりできる場づくりにも努めてまいります。今後とも本学をよろしく願い申し上げます。

<略歴>看護学修士（ニューヨーク大学）。聖路加看護大学卒業後、看護師を経験の後に渡米。米国では大学病院勤務や訪問看護ステーションの起業も経験。帰国後は大分医科大学 教授、公立大学法人青森県立保健大学 理事長・学長などを経て、2019年4月現職就任。

小林 智 **福祉心理学部 臨床心理学科 助教**



臨床心理学科・臨床心理学研究科で、主に公認心理師・臨床心理士養成にかかわる科目を担当いたします。専門職養成の責任を自覚し、私自身も学生と共に学びを深めて参りたいと思います。

菅原 邦生 **短期大学部 人間総合学科 准教授**



カラーコーディネートやインテリア科目を担当します。昨年度まで山形県にある認定職業訓練施設で教えてきました。将来、職業人となる皆さんに良きアドバイスが出来ればと思っています。

鶴橋 昌子 **短期大学部 人間総合学科 実習演習助手**



本学の短大を卒業し、その後22年間、恩師のもと、被服構成実習をメインに実習助手として勤務してきました。今後は本学で学んだことを活かしながら、今まで以上に尽力して参りたいと思います。

菅原 陽心 **福祉心理学部 社会福祉学科 特任教授**



4月から特任教授となりました。経済学、新潟学の担当、社会連携の仕事にも携わっています。新潟学は「みなと」をキーワードに今の新潟がどのように形作られてきたのか読み解くものです。多くの人に学んでもらいたいと思います。

宮 淑恵 **福祉心理学部 社会福祉学科 助教**



介護領域と社会福祉領域を主に授業・実習を担当します。これまで家族や地域で暮らす高齢者の介護を行いながら、介護教育等に携わってきました。質の高い専門職を育成する一端を担うことに寄与できればと思っています。

新國 佳祐 **福祉心理学部 臨床心理学科 助教**



学習・言語心理学等、主に心理学に関する科目を担当します。昨年度までは東北大学大学院情報科学研究科の教員として勤務していました。教育・研究の両面で新潟青陵大学のさらなる発展に貢献できればと考えています。

山口 友江 **短期大学部 人間総合学科 特任助教**



介護系実習支援室におり、主に精神福祉援助実習と介護福祉援助実習を担当します。看護師として働いた現場経験を活かし、専門の知識と技術を身につけた自分達はどう社会に貢献できるか、学生と共に考え学びを深めたいと思います。

## 2018年度末の退職教員

- 諫山 正（大学学長、福祉心理学部 教授）
- 鈴木 宏（大学 副学長、大学院看護学研究科 教授）
- 金子 史代（大学院看護学研究科 教授）
- 岩崎 保之（福祉心理学部 教授）
- 横谷 謙次（大学院臨床心理学研究科 准教授）
- 板垣 絵美（看護学部 助手）

## 2019 年度後期公開講座

後期は「第 34 回国民文化祭にいがた・2019、第 19 回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」と関係した講座を開催します。10 月に応援事業として、障害のある方の芸術作品「アール・ブリュット」を鑑賞するワークショップを開催。11 月には障害者芸術・文化事業として「ヒューマンライブラリー」と、それに関連する特別企画を開催いたします。

### [お申込み・お問合せ]

4 大学メディアキャンパス公開講座担当  
TEL (025) 278-3875 FAX (025) 278-7059  
E-mail [ex@n-seiryu.ac.jp](mailto:ex@n-seiryu.ac.jp)  
受付時間 | 火～金 9:00～17:15

### [講座紹介]

10/19 (土) 13:00～16:00

#### ART & DIALOG

##### — はなしながら、ふれてみる、障害とアート

障害のある人たちの表現活動について、福祉施設職員やご家族による作品紹介と制作エピソードに触れつつ、その魅力を感じ取っていただくワークショップを行います。

運営 | 新潟県アール・ブリュット・サポート・センター NASC  
ファシリテーター | 仲 真人 (幼児教育学科 准教授)

◆定員: 50 名 ◆対象: 一般成人  
◆申込締切: 10 月 4 日 (金) ◆受講料: 1,000 円

11/10 (日) 10:30～12:00

#### 身長 100cm 車椅子のママの子育て

##### — みんなと同じだけど、ちょっと違う

生まれつき骨の折れやすい障害である「骨形成不全症」を患う伊是名さんは、「障害者だから」という「呪いの言葉」をはねのけ、周囲の環境を変えてきました。自分の意見を大切に、

自由に生きることを心掛ける伊是名さんの経験と日頃の悩み、葛藤などをお話しいたします。

講演者 | 伊是名 夏子 (コラムニスト)

◆定員: 100 名 ◆対象: 一般成人  
◆申込締切: 10 月 25 日 (金) ◆受講無料

11/10 (日) 12:00 (受付開始)～16:45

#### ニイガタヒューマンライブラリー 2019@SEIRYO

##### — あなたを知って、私を知りたい

ヒューマンライブラリーとは「人を貸し出す図書館」です。多様な背景を持つ人々の経験を「本を読む」かのように傾聴し、対話することで誤解や固定観念に気づき、多様な生き方を認め合うことを目指します。

企画・運営 | ヒューマンライブラリー新潟青陵学生司書プロジェクト (青陵大・短大の学生有志約 30 名)

◆定員なし ◆対象: 一般成人 ◆申込不要 ◆入場無料

11/10 (日) 16:10～17:30

#### 天上の音楽

##### — ハートケアコンサート

人が生まれ、愛され、人生の試練を経てやがて天に還っていく人生の走馬灯のような映像とともに、「いのちの希望」をテーマにした楽曲を鑑賞いただくコンサートです。また、在宅医療のパイオニアである福田 喜一 先生をお招きし、終末期医療に向き合う方々の状況を語っていただきます。

演奏者 | 日比野 則彦 (sax・pf)、日比野 愛子 (vo)  
ゲストスピーカー | 福田 喜一 (潟東クリニック院長)

◆定員: 100 名  
◆対象: 一般成人  
◆申込締切: 10 月 25 日 (金)  
◆受講無料

最新情報はこちらから



公開講座ページ



公式 facebook

## 編集後記

NIIGATA SEIRYO NEWS 2019/9 September No.22

酷暑だった新潟の夏も終わりを迎え、少しずつ秋の気配を感じる季節となりました。今号では、新しい年度を迎えてからこれまでの大学・短期大部の様々な活動をご紹介します。特に「ふわりとつつむ新潟青陵インクルージョン講座」は、多様な人々があたりまえの生活を地域社会で営むための条件である「インクルージョン」をキーワードに 2016 年から開催

されており、10 月以降も障害とアート、ヒューマンライブラリー (人を本に見立てて読者に貸し出す図書館。読者 (参加者) と本 (障害者やマイノリティを持つ人) とが一对一で対話をする。) などを企画しております。これらは、本学の得意分野であるとともに本学に期待されている分野でもあるかと存じます。どうぞこの機会に青陵大学・短期大学部に足をお運びくださるよう、お願いいたします。 (事務局長 栗林 克礼)